

2019 大阪サウンドコレクション報告(2019.7.7)

7月6日から7日まで心斎橋ハートンホテルで開催された、2019 大阪サウンドコレクションに行ってきました。



[2019 大阪サウンドコレクションパンフ](#)

<各ブースのデモ内容>

各ブースのデモの概要は、早速、Stereo Sound Online の速報で報告されているので、こちらを参照していただくとして、以下に興味をもったブースの紹介をいたします。

<https://online.stereosound.co.jp/ct/17285712>

【ノア・アークジョイア】

ノアの担当で Electa Amator III でアナログを再生していました。Dr. Feickert Analog のターンテーブルに Klaudio のピヴォット式リニアトラッキングトーンアームを装着し、JAN ALLERTS のカートリッジ MC1 Boron Mk2 で Bespoke Audio のトランス式 Passive Pre-amplifier 経由で、ムターやポリーニの盤を再生した音は、HiFi 調ではなく、実に音楽的でした。

現在使用中の[アナログマジック](#)の展示があり、アナログマジックやアナログマジック推奨のトルクドライバーに関するノア社の担当者と情報交換を行い、使いこなしのためには、さらなる深い理解が必要ということで、質問を受けてもらうことになりました。

た。



【ESOTERIC】

TANNOY の Autograph MINI MK2 のデモを行っていましたが、小さい躯体に似合わないスケール感のある音を聴かせていました。



【アッカ・日本音響エンジニアリング】

日本音響エンジニアリングの担当でANKHシリーズの音響パネルの有無のデモを行ってました。



以下のブースはほとんど素通り状況でした。

【TAD】



【アキュフェーズ】



【ステラ・ゼファン】



【太陽インターナショナル】



<まとめ>

新製品の発表も少なく、入場者もそれほど多くなかったようですが、ノアのアナログ再生は、非常に心地よく聴けましたし、アナログマジックに関する情報交換が有益でした。

以上